

第1回更級日記千年紀文学賞

養老の丸房代寸人に選考委員特別賞

加茂里山通信

令和4年
新年号

所
商工会議部
加茂里山通信編集長
市原山通信編集長
発行
編集

想録であったと同じように、養老に嫁いできてから40年の嫁の歴史を綴ったものです。「他所から嫁し、家の嫁として暮らし、義母から学び、この地に根を下ろしていく過程を、村のさまさまや、その前の義母たち、もともと遠い昔の村に嫁いだ女性たちが、体験し馴染んだ村の暮らしについて、さやかやが記録を書き進めます。」

市原市が創設した第1回「更級日記千年紀文学賞」の授賞式が1月14日、市民会館小ホールで開催され、一般の部で養老の丸房代寸人の「なの花より」が選考委員特別賞を受賞しました。大賞作品「優秀賞」作品「選考委員特別賞」3作品の入賞者で、市内内からの入賞者は知さん一人という快挙でした。この文学賞は、平安時代の回繙録「更級日記」の作者菅原孝標女が、

「かわらぬかすそのむすめがかつてあった上総國を由立し、京へ旅立つてから十年を迎えたのを記念して創設されたものです。一般の部には全国から210点(小説17点、紀行文10点、随筆6点)その他4点の応募がありました。また、同時に募集した小学生の部の家族をテーマとした短歌には、これも全国から1735首の応募がありました。この

賞は千年紀にあたる2020年に創設され本来はその年に公募と選考会、表彰式の予定でしたがコロナ禍により1年延期されたものです。選考委員長は作家の椎名誠氏、委員には国文学者の島内景氏、元NHKアナウンサーでエッセイストの加賀美幸子氏、市内在住の作家、岸本静江氏、小学館編集者の竹下典紀氏でした。皆さんの作品は更級日記がほぼ40年にわたる回



ら、年配の人たちには郷愁を誘うような話が流れるような文章で綴られています。いつまでもこの地を受け入れられていきます。いつまでもこの地を受け入れることには馴染まなかったこと、馴染まなかったこと、馴染まなかったこと、自分を見つめて、ふるさととして受け入れを、さとして受け入れを、決意し、積極的に関わろうと行動するまでになりました。一人の女性の物語にもなっています。その思いは「私がこの地に暮らしている。続けることこそが、ふるさどになることなのだ。」の一文に表れています。

丸さんの「なの花より」を加茂地区の多くの人に読んでいただきたいと思います。

(征矢里山通信)

房総里山芸術祭開催される

今回で3回目の開催を迎えた房総里山芸術祭「いちばらアート×ミツタス2020+」はコロナの感染拡大を受けて、1年半の延期を養彦さんされました。

いっ開催できるのか? 開催できるのか? いろんな形で? という心配があったのは広告の不足と口コミの広がり不足で、入場者数も、5億円を超える巨費を投じてのイベントですから、やはり成果を求められます。この事業の目的は過疎と高齢化が進む南市原に人々呼び込んで、活性化を図ることです。から、入場者数は大きな目標になっています。この



市原市の総合計画では人口27万人の維持と、交流人口50万人の達成が大きな目標値になっています。この

を達成するために「いちばらアート×ミツタス2020+」はコロナの感染拡大を受けて、1年半の延期を養彦さんされました。

祭「いちばらアート×ミツタス2020+」はコロナの感染拡大を受けて、1年半の延期を養彦さんされました。

を達成するために「いちばらアート×ミツタス2020+」はコロナの感染拡大を受けて、1年半の延期を養彦さんされました。

を達成するために「いちばらアート×ミツタス2020+」はコロナの感染拡大を受けて、1年半の延期を養彦さんされました。



を達成するために「いちばらアート×ミツタス2020+」はコロナの感染拡大を受けて、1年半の延期を養彦さんされました。

を達成するために「いちばらアート×ミツタス2020+」はコロナの感染拡大を受けて、1年半の延期を養彦さんされました。

(養根下里山通信)

今回の芸術祭

本来であれば2020年の春に開催されたはずの「加茂山芸術祭」は「アートミックス2021」が2021年の1月19日から12月26日まで（月火曜日休、祝日3日は開催）開催されました。関式は小湊鐵道の五井駅下の「こみな」と待合室前にて、外国大使館員も招いた見事なイベントの中で、小出市長や絵画コンクールの北川三夫氏らの列車に向けて挨拶するといった演出が始まり、最終閉会式は里見小学校で大きな焚き火を背景に関係者が和気あいあいの雰囲気で行われました。西日とも今の芸術祭を象徴しているように晴天に恵

まれました。3回目の芸術祭ではこれまで2回よりも会場が広がり、五井の小湊遺蹟区、小湊線各駅、旧平小築、旧豊原所、牛久原街、山口地区などが会場として追加されました。前回では多くの作家が使った里見小学校では体育館を含めた一部が使われ、旧鳥小学校在舎内は使われませんでした。期間も短縮され、月火が休みとして春の期間は短縮されたにもかかわらず、延べ10万人が訪れました。コロナ禍で造地蔵菩薩坐像を間近に見ることができたのもこの芸術祭があったからでした。

いちばらアートミックス2020+

「いちばらアートミックス2020+」が開催されました。本日は春の開催予定が一年延期され、味いお食事提供されました。普段小湊線の駅舎それぞれを見ることができたので新鮮な驚きがありました。

朝生原の谷では素敵な映像作品、思い出の家では美味しいお食事提供されました。普段小湊線の駅舎それぞれを見ることができたので新鮮な驚きがありました。

上総久保駅から少し入った山口町会「音信山再訪」が上映されている訪問館が開かれ映画「音信山再訪」が上映されています。

「いちばらアートミックス2020+」が開催されました。本日は春の開催予定が一年延期され、年の瀬近いこの時期になり、来るのを楽しみにしていたけどスケジュールが合わないから難しいという方もいました。準備期間も短く作家さん達の花やイラスト、市役所職員の皆様も大変だったと思います。予定していた作品の中には残念ながら中止になったものもありますが、それでも何度が会場に足を運び、市原市を再発見することができました。

今回は小湊鉄道各駅に作品が置かれました。レオニート・チシコ作7つの月を採寸旅 第一の駅五井・水もなくもどろろは桶の中の7つの月、第二の駅上総村上スペース、第三の駅海士有木・宇宙の立方体 第四の駅上総三文・三文字車基地 第五の駅上総山田・芭蕉の月、第六の駅光風台・流れ星、第七の駅馬立・僕の月の旅。牛久原前には3歳児が大好きなトイレ、商店街の中に素敵な作品があります。上総川間駅・スツエスの壁、上総鶴舞駅・更衣室、上総久保駅・久保駅茶入、高瀬駅・翼、市原湖畔美術館、里見駅・里見小では「里山食卓」の里山アート、銀座駅・超有名人、月輪駅・もろゾオ、冥ハジメに進化）、上総久保駅・森の入り口（下イ）旧白鳥保育所にも多数の作品、旧白鳥小ではおもてなし交流プログラムとして市原市・千葉県ならではのプロジェクトやお土産、お食事などで「おもてなし」していただきました。養老溪谷駅・7つの月を採寸旅 最終駅（私の月はいつも旅行中）・アートハウス

いろいろな発見あり

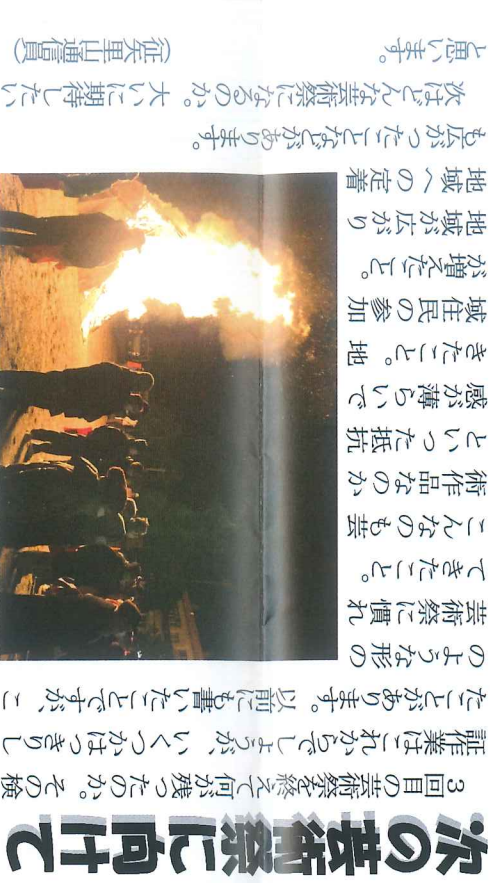


芸術作品以外にもいろいろ発見がありました。初めて訪れた旧豊原所が実によき建物で、プロフェッショナルな厨房設備や2階の舞台もあり、講堂として同じ階の外側の小さなテラスなど、その作り良さに感じました。また、今回から参事加した旧平小築の校庭や山側の土地が美に見事に整備されていて、開闢された小学校の跡地で、ターの北川三夫氏らの列車に向けて挨拶するなど、なにかと想像を掻き立てるような演出が感じられます。山口の里で音信山の古道の一部が復活され、近くのいなごらの歴史と古道の存在そのものを全知らなかつたことを知り、一人の作家が注目しなげれば古

活はな道の復たに蘇りました。また国の作家さんも一人で歴史的な家の内部修復作業をしていた姿、自ら体に入った里見小学校では、日本一の芸術祭に慣れたこと。地帯が薄らぐこと。また、外国作家を来目できなかったため、その構がわかりました。コロナ禍で延期された分、作品の維持・管理は大変なものだと思えます。作品となる野外のもの、また、外国作家を来目できなかったため、その構がわかりました。コロナ禍で造地蔵菩薩坐像を間近に見ることができたのもこの芸術祭があったからでした。

また、外国作家を来目できなかったため、その構がわかりました。コロナ禍で造地蔵菩薩坐像を間近に見ることができたのもこの芸術祭があったからでした。

また、外国作家を来目できなかったため、その構がわかりました。コロナ禍で造地蔵菩薩坐像を間近に見ることができたのもこの芸術祭があったからでした。



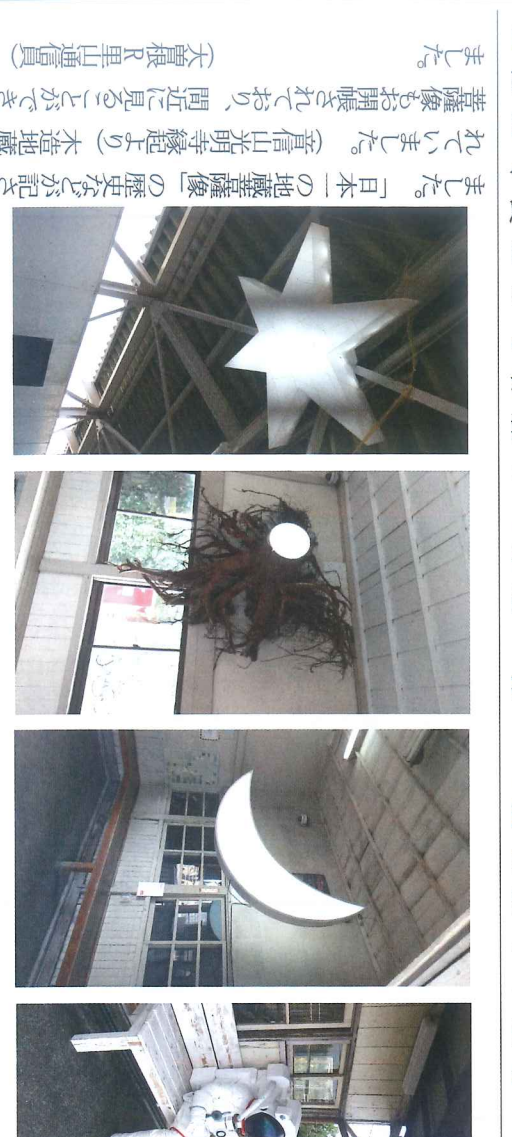
次の芸術祭に向けて

3回目の芸術祭を終え何が残ったのか。その検証作業はこれからですが、いくつかはつきりした点があります。以前にも書いたことですが、この大きな形の芸術祭に慣れたこと。地域への定着が広がりました。また、外国作家を来目できなかったため、その構がわかりました。コロナ禍で造地蔵菩薩坐像を間近に見ることができたのもこの芸術祭があったからでした。

いちばらアートミックス2020+

小湊鉄道駅舎シリーズ

朝生原の谷では素敵な映像作品、思い出の家では美味しいお食事提供されました。普段小湊線の駅舎それぞれを見ることができたので新鮮な驚きがありました。



年頭の「挨拶」

市原商工会議所会頭 榎原義夫

明けましておめでとうございます。令和4年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。旧年中は、当所の活動に格別の高配を賜り厚くお礼申し上げます。また、加茂里山通信編集部の皆様につきましては、地域の情報をインターネットに発信する地域情報誌を継続して発行されていることに感謝申し上げます。さて、市原商工会議所は昭和47年4月に創立、地域唯一の総合団体として、本年50周年を迎えることができました。これもひとえに、千葉県市原市をはじめ、関係機関、会員企業など多くの皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の発令などで、経済活動が停滞する大変厳しい年となりました。

こうした中、当所では新型コロナウイルスで影響を受けている事業者に対する施策である助成金、給付金の申請や経営基盤強化策の支援をさせていただきます。更にはコロナ禍で不安を抱えている会員事業所の従業員に対し、市内医療機関の多岐なる尽力をいただき新型コロナウイルスのワクチン接種を実施することが出来ました。



この催し 移しての開催となりました。

日間、盛況に開催され地域経済の活性化の一助を担うことができ、当前においても「いはら国府ラウンド商品」などの魅力ある商品を多くの観光客にむけて販売を行う機会となりました。

現在、ウイズコロナ・アフターコロナにおいて、霊票の変化も見られることから、ニーズに沿った商品やサービスの開発、販売方法の見直しなども柔軟に対応するため、新たな経営戦略に向けた専門家を活用した支援にも力を入れています。今後も感染状況を鑑み、持続的な成長につながる様々な事業にこれまで以上に取り組み、行政とともに引き続き中小企業の皆様を全力で支援してまいります所存あります。

結びに、本年も皆様の一層のご支援、協力を心よりお願い申し上げます。年頭の「挨拶」させていただきます。

第6回「アフターコロナ」

昨年、コロナ禍の中で開催中止となった市原市芸会主催の「アフターコロナ市原2021」が、養老溪谷の連称神社駐車場にて1月27日と28日に開催されました。一昨年は井井地区の更級公園にて行ったのですが、コロナ禍で使用できず場所を



この催し 移しての開催となりました。



つりの楽しみ、また作り手と使い手の交流の場もなっています。

市内作家さんの中には遠いからと出店を見合わせ、た方もいたようですが、單芋、新郷真、宮城県、愛知県、和歌山県からも参加した作家さんたちがいました。群馬から来た人は夜中に出て朝の時点で着いたと話していました。ガラス細工、栴藍染め、香木細工、陶器などが比較的多く、そのほかにもいろいろな土作品が並んでいました。体験教室のいわゆるワークショップもあり、小さな子供たちが一生懸命取り組んでいました。出展者からは「自然豊かな環境で気持ちよかったです。市街地開催と違って冷やかしかるがままです。よって売り上げも更級公園会場と同様でした」と声もありました。

一方「足元がぬかるんで良くなかった。場所を変えてほしい」「足元が悪く歩きにくい」などの意見もありました。碎石を敷いてある場所なのですが、どうしても凹凸がある上に、草刈りをした後に猪が糞を捕るために土を掘り返しボロボロにした場所もあり、足の悪い方には負担をかけてしまったようです。

少し冷たい風があったものの晴天に恵まれ、また養老溪谷の紅葉のシーズンとも重なり、初日に300人、2日に500人の来場者がありました。

市原市芸会では次回以降に向けてさらに多くの皆様に来ていただけるよう、準備を進めています。
(従夫里山通信)



養老谷駅

養老溪谷駅

里見駅

人と環境が一体となって大切な未来へ

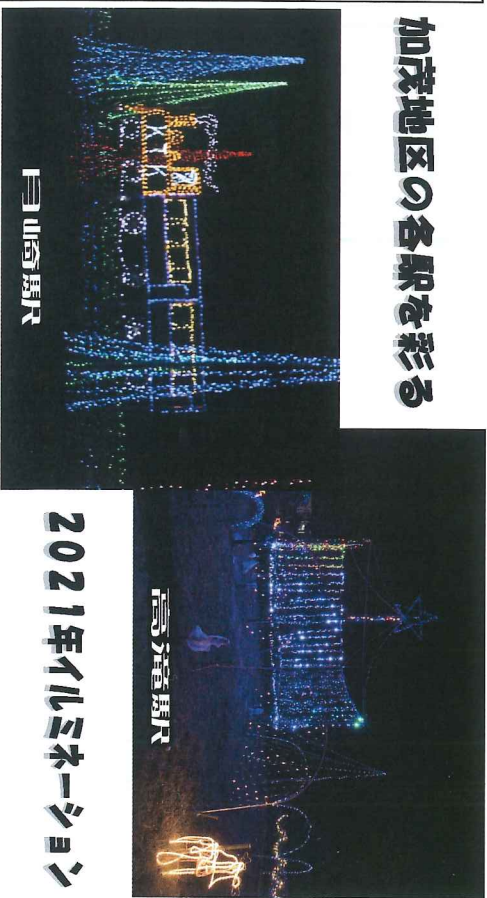
自然環境と人間との調和を目指して



杉田建材株式会社

本社 市原市万田野 26 TEL 0436(96)1311
 市原支店 市原市総社1-1-22 TEL 0436(24)0511
 南総支店 市原市牛久450-1 TEL 0436(50)0111

URL <http://www.sugita-group.com/>



白川奇駅

高滝駅

2021年イルミネーション

加茂地区の各駅を彩る

加茂学園は今

△ラン大会実施

令和3年12月2日(木)晴天の中ラン大会

が開催されました。子供たちは約1ヶ月間、体育の

授業や試走を経て

大会に臨みました。

子供たちがそれぞれ

目標を持って最

後まであきらめず

に走りこる

姿は印象的でした。

生徒は「私はタイ

ムが昨年より3分

早くなつてうれし

かったです。」

「先輩に最後まで

ついていけず、くやしかったのでこれから体力を

つけてきたい。」

「9年生は3駅

伝空として参加

し、楽しく走り

とがきました。」

との感想でした。

保護者の方々にも

参観していただき、

子供たちの力を

応援してくれたた

けでなく、走路員

として子供たちの

安全を見守ってい

いただきました。

これからも心身

ともにたくましく

生徒の育成を図

ていきますので

地域の皆様にも子

供たちを応援して

いただきます。

思います。よろしく

お願いします。

総願いします。



アライア ニング

12月7日(水)～9日(木)に加茂学園独自の

アライア・イン

グリッシュを行い

ました。今学年で

の実施は市原市内

では加茂学園のみ

です。昨年に引き

つなぐ2回目の開催

となりました。ア

ライア・イング

は、アライア・イン

グリッシュとは、A

ライア(外国人講師)

が中心となりオリ

ン・イングリッシュ

で行う活動

です。前・

中・後期プ

ログと

に体育館で

体を動かし

勉強会を開催す

る予定です。

昨年11月2

7日に開催した

市原商工会議所

支部長会議(市

原・井・姉崎・

三和・市津・南

原・市津・南

原・市津・南

原・市津・南

原・市津・南

原・市津・南

原・市津・南

原・市津・南

原・市津・南

原・市津・南

原・市津・南

原・市津・南

原・市津・南

原・市津・南

市原商工会議所ニユース

SDG'sへの取組

市原商工会議所は、市内中小企業者へのSDG's

普及活動に取り組んでいます。

最近耳にする機会も多くなっているSDG'sと

は、Sustainable Development Goals(サステイ

ナブルな開発目標)の17のゴール、169のターゲット

をこたえらるべく、

構成員が、

SDG'sの普及活動

を推進するものと思われがちですが、小規模事業

者や中小企業にとって、後継者がいない事となつて

いくと考えると

ます。

それに先駆け

て、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

く、先をき

明けておめでとございます。

・少し小規模とはなったもの、まだ漸くは

ならないと日本人の誰かが思っていることは、人

会う時や公共の場でマスクをする人が一人もい

ないこと分かります。この2年間に学んだことで、

ゆるみがかかっていると感じた人

が理解しているのだと思いま

す。

・加茂里山通信の1年間

編集委員として顔をお合

わすれず、発行に合せて原

稿と写真を寄せてもらい、それを編集して仕

上げてきました。前には発行前に3回くらい

顔を合せて情報交換を兼ねていろいろ話

をしていただいたのですが、それが懐かしと思えま

す。

・房総里山芸術祭が終了しました。閑雲で

は市長などの挨拶のあった第一部の後に関係

者の交流と敏談の場として第2部がありまし

た。そこではそれぞれの地域を代表した人

たちが挨拶をしました。印象深かったのはみんなが感

謝の言葉を述べていたことです。多くの人が関わり

成し遂げることでできたことを実感していたからだ

と思われました。市役所の人たち、ボランティアの

人たち、作家さんたち、そして地域の人たち、本

にお疲れさまでした。

何年にも増して厳し

い寒気が続いています。

しかし苗木の植え替え

や枝の剪定など冬場に

は欠かせないことでもあります。春を迎えるための進

捗に費やす時間でもあります。芽吹き花咲く春に向

けて、どうか厚く喜ばさい。(佐安里山通信員)

情報提供、取材依頼は近頃の通信員。

メールでも受け付けます。

記事に関する意見、お問い合わせは記

者市原商工会議所

0436(22)4305 担当 藤田朋範

メール tsapp@tc1.or.jp

次回は4月20日発行予定です。

次回は4月20日発行予定です。

次回は4月20日発行予定です。

次回は4月20日発行予定です。

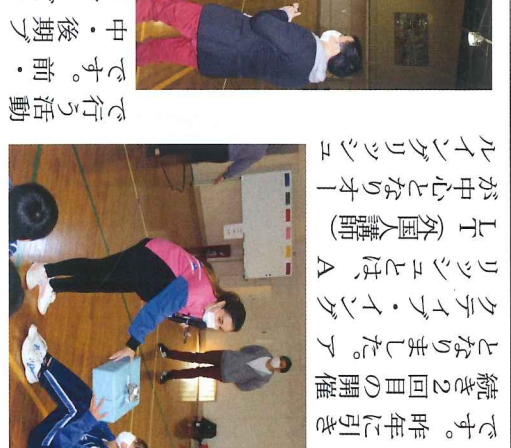
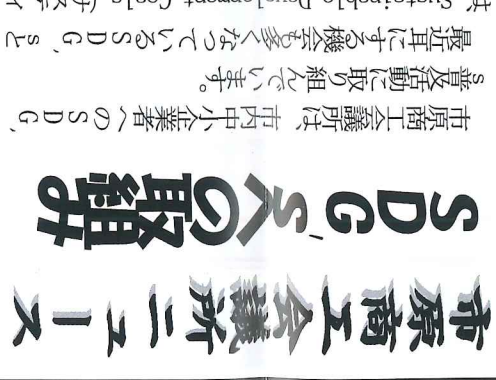
次回は4月20日発行予定です。

次回は4月20日発行予定です。

宝船イベント中止について
いまだ商工業者の中にはコロナ禍のダメージから回復していない業者もいます。そうした事情を鑑み、本年度も宝船イベントを中止とさせていただきます。

市原商工会議所は、三井住友海上火災保険㈱と包括連携協定を結び、小規模事業者等でもSDG'sに取組めるよう支援体制を構築し、市内事業者へのSDG's推進、発表会などを開催し、環境社会経済の好循環を目指しています。(佐安里山通信員)

市原商工会議所は、市内中小企業者へのSDG's普及活動に取り組んでいます。最近耳にする機会も多くなっているSDG'sとは、Sustainable Development Goals(サステイナブルな開発目標)の17のゴール、169のターゲットをこたえらるべく、構成員が、SDG'sの普及活動を推進するものと思われがちですが、小規模事業者や中小企業にとって、後継者がいない事となつていくと考えると、



房総・養老深谷の地酒が土産は 養老深谷駅前 角屋商店 養老深谷観光協会窓口 市原市朝生原18-1 TEL0436-96-1108 FAX0436-96-0052

愛車のある幸せが暮らしに 応援します! 安全・安心 有限会社 全日本ロータリークラブ加盟店 小茶自動車 市原市石神22-7 TEL0436-96-0482 FAX0436-96-1293

皆様と共に歩む観光地 7カギが絶対好調! 高滝湖観光企業組合 TEL 0436-98-1277